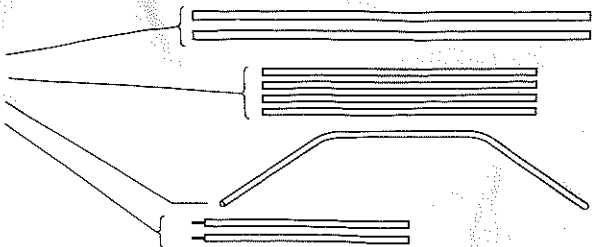


# B.C. Canopy Dome Tent 280 Plus

この度はB.C.キャノピードームテント280プラスをお買い上げいただき誠に有難うございました。  
テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。  
また、石や木の枝等、テントを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- 本体 (インナーテント) 1張
- フライシート 1張
- ルーフポール (FRP、ブラック) 2本
- コーナースティック (スチール、グリーン) 4本
- フロントポール (FRP、グレー) 1本
- キャノピー用ポール (グリーン) 2本
- 自在ロープ (3M) 9本
- プラスチックペグ 4本
- STピンペグ 14本
- ハンマー 1ヶ



## 設営手順

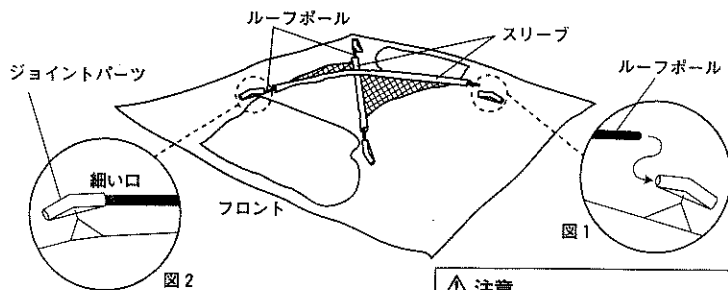
### STEP 1 インナーテントにポールをセットする

①インナーテントを広げ、ルーフポールを伸ばします。

**注意**  
ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んで下さい。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

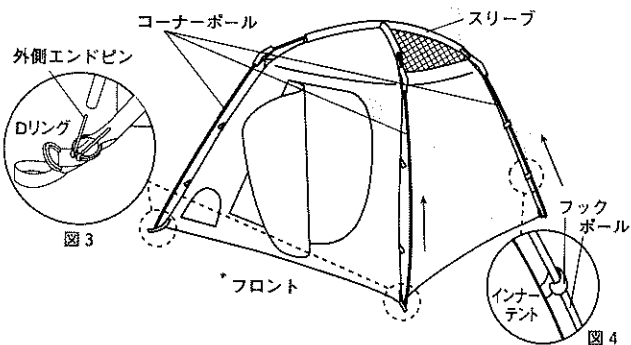
②ルーフポールをクロスするスリーブに通します。各々のポールエンドの端をジョイントパーツの細い口側へ差し込んでください。(図1、図2)

**注意**  
ポールは引っ張らず必ず押し入れてください。ジョイントパーツの穴は、中にギザギザがついている方がルーフポール用です。



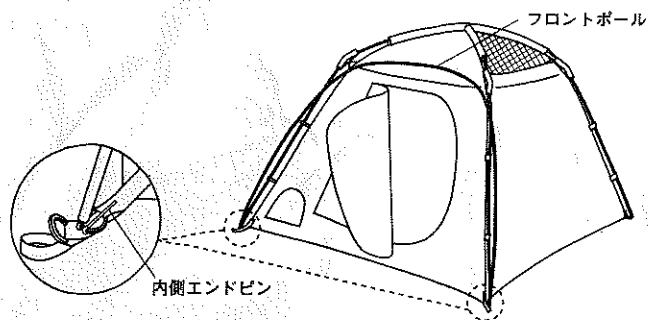
### STEP 2 本体を立ち上げる

- ①出入り口は空気が入りやすいよう、あらかじめファスナーを全開しておきます。
- ②コーナースティックをジョイントパーツの太い口側へ差し込みます。
- ③立ち上がった後、ジョイントパーツにコーナースティックを差し込みます。フロント側は外側のエンドピンに差し込んで下さい。(図3)
- ④インナーテントに付いているフックを各ポールに掛けます。この時に手をはさまない様気を付けてください。(図4)



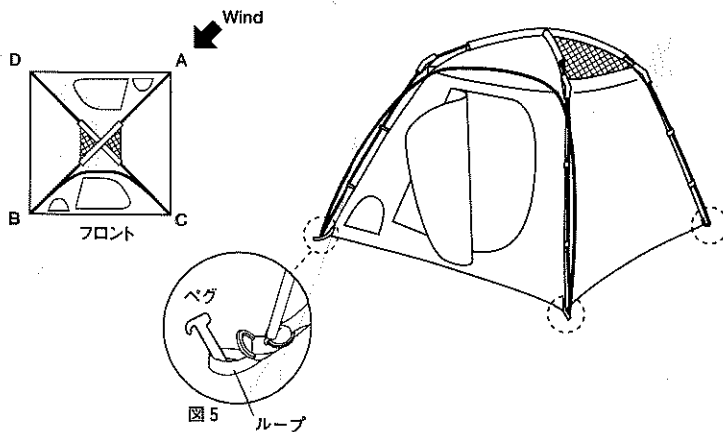
### STEP 3 フロントポールをセットする

①フロントポールをフロントドア側のコーナー2ヶ所に残っている内側エンドピンに差し込みます。



### STEP 4 設営位置を決め四隅をペグで固定する

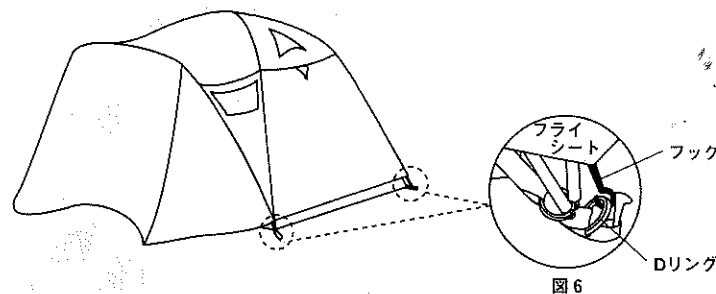
①図のように四隅のループを風上より順に(A~D)対角線にペグ打ちしてインナーテントを固定してください。(図5)



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。

### STEP 5 フライシートをインナーテントにセットする

- ①フライシートを後部からフロント側へかぶせます。この時にフロントポールはフライシートの内側に入ります。
- ②フライシート端に付いているフックをインナーテントのループについているDリングに掛け(4ヶ所)(図6)、フライシート内側にあるベルクロテープをルーフポール、フロントポールに止めて固定します。

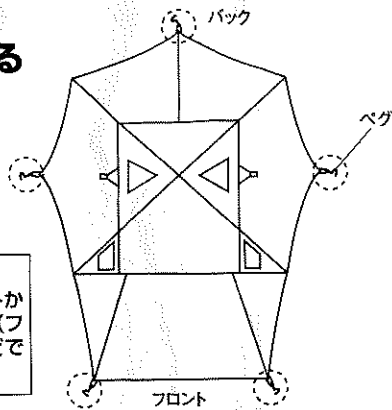


## STEP 6 フライシートをペグで固定する

①フロント、バック、サイドの順に、フライのループをシワがなくなるように外側に引っ張り、ペグで固定してください。

### △注意

とくに、サイドのループは、インナーテントから十分離れたところで、固定してください。(フライがインナーテントに接触すると結露などでインナーテントが濡れることがあります。)



## STEP 7 センターループとストームガードシステムの活用

①フライシートの両側面にあるセンターループに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

テントの安定性を高め、フライとインナーの接触を防ぎます。

ストームガードループ

### △注意

大きなサイズのテントはその構造上、風の抵抗を受けやすいので「ストームガードシステム」を必ずご活用ください。

取り付け方

自在ロープの端をストームガードのループに結びます。

②上・左図の要領にて4カ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。  
③自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かなくなるよう調節してください。

## STEP 8 キャンピの活用

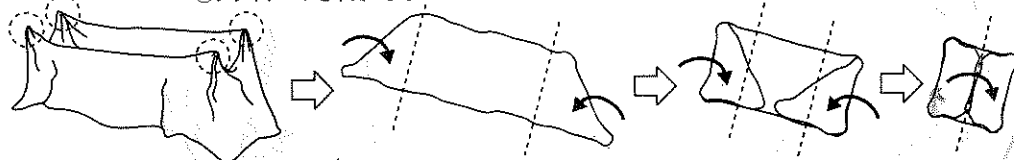
①付属のキャンピ用ポールを使い、前室をキャンピとしてご使用できます。



## 撤収手順

### STEP 1 フライシートをたたむ

①フライシートを固定したペグ、Dリングに掛けたフック、内側にあるベルクロテープすべてを外して、フライシートをインナーテントから取り外します。  
②フライシートを下図のようにしてたたみます。



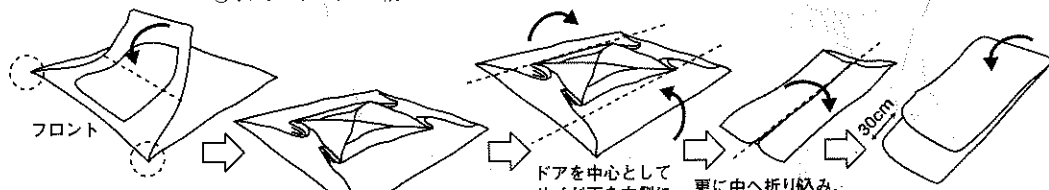
前後の屋根の四隅を持って、中央を折り込みながら半分にする。

両端を中へ折り込んで長方形にする。

長方形を更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

### STEP 2 インナーテントをたたむ

①インナーテントのフロントポール、コーナーポール、ルーフポールを外します。  
②インナーテントの四隅をきれいに広げ四角形にしてから、下図のようにしてたたみます。



コーナーをおさえながらジョイントパーツを持ってドア面をきれいに伸ばして外側へ折りたたむ。

同様に後部ドア側とサイド面も全て同様に折りたたむ。

ドアを中心としてサイド面を内側に折りたたむ。

更に中へ折り込み、1/4のサイズにたたむ。

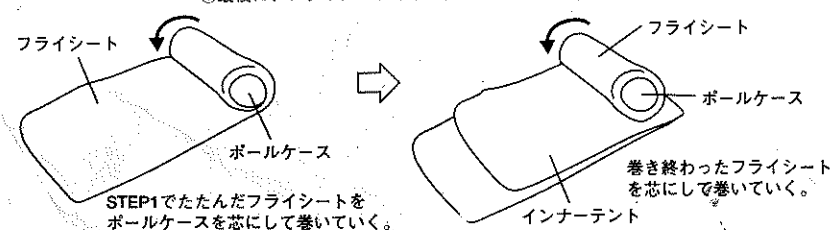
たたんだインナーテントを30cm程ずらすようにして縦にたたむ。

### △注意

インナーテントは汚れをふき取り、十分に乾かした状態で収納して下さい

### STEP 3 ケースに収納する

①ポールを全てポールケースに収納します。  
②最後に、フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納します。



STEP1でたたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。

巻き終わったフライシートを芯にして巻いていく。

### △注意

固く巻かないとキャリーバッグに入らない場合があります。

### △取扱上の注意

●テント内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設置してください。●テント内と外の気温差が高い時、テント内に水遣が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。

### △収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。●生地破れなどは市販のリペアキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。